



平成 19 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社つうけん
 代表者名 代表取締役社長 田原 米起
 (コード 1940 東証第二部・札証)
 問合せ先 取締役常務執行役員 小田島 一義
 電話番号 011-860-1161

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月18日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成20年3月期 中間業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 18 日 発表)	19,000	△ 100	△ 150	△ 100	△ 4 円 70 銭
今回修正予想(B)	20,000	△ 530	△ 520	△ 370	△ 17 円 39 銭
増減額(B-A)	1,000	△ 430	△ 370	△ 270	△ 12 円 69 銭
増減率(%)	5.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前中間期実績(平成18年9月期)	19,600	△ 432	△ 404	△ 254	△ 11 円 95 銭

(2) 個別業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 18 日 発表)	12,000	△ 120	△ 20	△ 25	△ 1 円 17 銭
今回修正予想(B)	13,000	150	290	200	9 円 40 銭
増減額(B-A)	1,000	270	310	225	10 円 57 銭
増減率(%)	8.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前中間期実績(平成18年9月期)	12,472	△ 328	△ 178	△ 74	△ 3 円 49 銭

(3) 修正の理由

連 結 : 当社事業の中核をなす「情報通信設備事業」においては、下記の個別業績修正の要因から、売上、利益ともに予想を上回る見込みであります。システム開発などの「情報通信サービス事業」においては、不採算案件の完成計上等が影響し、営業利益、経常利益、中間純利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

個 別 : 光ファイバー関連工事のエリア拡大および故障修理業務の領域拡大等による売上高の増加により、営業利益、経常利益および中間純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

2. 平成20年3月期 通期業績予想数値の修正(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19年 5月 18日 発表)	45,000	650	600	300	14 円 10 銭
今回修正予想(B)	47,000	250	270	100	4 円 70 銭
増減額(B-A)	2,000	△ 400	△ 330	△ 200	△ 9 円 40 銭
増減率(%)	4.4%	△ 61.5%	△ 55.0%	△ 66.7%	△ 66.7%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	46,706	440	524	319	15 円 00 銭

(2) 個別業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19年 5月 18日 発表)	30,000	200	350	200	9 円 39 銭
今回修正予想(B)	32,000	400	550	350	16 円 45 銭
増減額(B-A)	2,000	200	200	150	7 円 06 銭
増減率(%)	6.7%	100.0%	57.1%	75.0%	75.0%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	31,171	185	369	301	14 円 17 銭

(3) 修正の理由

連結：「情報通信設備事業」においては、個別業績が牽引し前期実績および当初予想を上回って推移する見込みではありますが、当中間期の「情報通信サービス事業」の不採算案件の完成計上等の影響により、通期の営業利益、経常利益および当期純利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

個別：当中間期同様、光ファイバー関連工事のエリア拡大および故障修理業務の領域拡大等による売上高の増加により、通期の営業利益、経常利益および当期純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上